

令和2年度使用教科用図書（小学校）選定資料

社会科補助資料

宮城県教育委員会

令和2年度使用教科用図書（小学校）選定資料社会科補助資料について

1 作成の目的

小学校社会科教科書の採択に向け、採択権者が調査研究する際の参考となるよう、採択基準1（5）について、従来の「選定資料」に加え、各教科書の内容について明確にし、比較検討できる補助資料を作成する。

2 作成にあたって

- (1) 各社教科書の記載内容を比較検討できるよう調査研究事項を設定する。
- (2) 調査研究事項の設定に当たっては、小学校学習指導要領（H29.3月）社会科の目標等及び第2期宮城県教育振興基本計画（H29.3月）の目標を踏まえる。
- (3) 調査研究事項について、各教科書の比較検討ができるよう記載内容やその分量を示す。

3 調査対象教科書（3点）

- ①東京書籍（東書） ②教育出版（教出） ③日本文教出版（日文）

4 小学校学習指導要領社会科の目標

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のように養う。

- ① 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに、様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ② 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考えたり、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- ③ 社会的事象について、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、我が国の国土と歴史に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

【第3学年の目標】

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- ① 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

- ② 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- ③ 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

【第4学年の目標】

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- ① 自分たちの都道府県の地理的環境の特色、地域の人々の健康と生活環境を支える働きや自然災害から地域の安全を守るための諸活動、地域の伝統と文化や地域の発展に尽くした先人の働きなどについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ② 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを表現する力を養う。
- ③ 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養う。

【第5学年の目標】

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- ① 我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ② 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③ 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。

【第6学年の目標】

社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- ① 我が国の政治の考え方と仕組みや働き、国家及び社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産、我が国と関係の深い国の生活やグローバル化する国際社会における我が国の役割について理解するとともに、地図帳や地球儀、統計や年表などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- ② 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- ③ 社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについて自覚を養う。

5 第2期宮城県教育振興基本計画の目標

- (1) 自分の命を大切にし、高い志と思いやりの心を持つ、心身ともに健やかな人間を育む。
- (2) 夢や志の実現に向けて自ら学び、自ら考え行動し、社会を生き抜く人間を育む。
- (3) ふるさと宮城に誇りを持ち、東日本大震災からの復興、そして我が国や郷土の発展を支える人間を育む。
- (4) 学校・家庭・地域の教育力の充実と連携・協働の強化を図り、社会全体で子供を守り育てる環境をつくる。
- (5) 生涯にわたり学び、互いに高め合い、充実した人生を送ることができる地域社会をつくる。

6 教科書の調査研究

(1) 調査研究の総括表

	調査研究事項（調査研究の対象）	対象の根拠
a	国や地域の発展に尽くした先人	小学校学習指導要領 第4学年・内容（4） 第6学年・内容（2） 第2期宮城県教育振興基本計画 目標2, 3
b	伝統や文化などの地域資源の保護・活用, 我が国の代表的な文化遺産	小学校学習指導要領 第4学年・内容（4） 第6学年・内容（2） 第2期宮城県教育振興基本計画 目標3
c	我が国の領土をめぐる問題	小学校学習指導要領 第5学年・内容（1）
d	自然災害における関係機関の役割等	小学校学習指導要領 第4学年・内容（3）

(2) 調査対象事項を設定した理由

今回の改定において、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて構想する力を養うために、現行学習指導要領において充実された伝統・文化等に関する様々な理解を引き続き深めつつ、将来につながる現代的な諸課題を踏まえた教育内容の見直しを図ることが必要とされている。具体的に、日本と世界の生活・文化の多様性の理解や地球規模の諸課題や地域的な諸課題の解決について、例えば、我が国の固有の領土について地理的な側面や国際的な関係に着目して考えるなど、時間的・空間的な多様な視点から考察する力を身に付けるといったグローバル化への対応や防災・安全への対応、周囲が海に囲まれ多くの島々からなる海洋国家である我が国の国土の様子などの教育内容の見直しが挙げられている。

これを踏まえ、第4学年においては、宮城県を中心とした地域の社会生活を総合的に理解できるようにするとともに、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚を養うようにすることをねらいとして「県内の伝統や文化、先人の働き」が取り上げられている。また、第6学年においては、我が国の歴史や伝統を大切に国を愛する心情、我が国の将来を担う国民としての自覚や平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きることの大切さについて自覚を養うようにするために、「我が国の歴史上の主な事象」が取り上げられている。これらのことから、国や地域の発展に尽くした先人（a）及び伝統や文化などの地域資源の保護・活用、我が国の代表的な文化遺産（b）を取り上げ、その記載内容について調査することとした。

また、今回の改定で、国土や防災に関する内容の充実を図ったことから、小学校社会科の教科書における我が国固有の領土である北方領土、竹島、尖閣諸島の取扱いや自然災害における関係機関（自衛隊）の役割等の記載内容についても調査することとした。

（3） 調査研究の方法

- ① 該当する学年における地域や国の発展に尽くした先人の人物名を抽出し、内容を比較する。
- ② 該当する学年における伝統や文化などの地域資源、我が国の代表的な文化遺産を抽出し、内容を比較する。
- ③ 我が国の領土をめぐる問題について、北方領土、竹島、尖閣諸島に関する記述の概要を比較する。
- ④ 自然災害における関係機関（自衛隊）の役割等についても③と同様に行う。

2 調査研究事項の具体的な内容

(1) 小学校4学年

a 地域・国家社会の発展に尽くした人物

地域・国家社会の発展に尽くした人物	
東書	夏目漱石, 布田保之助, 橋本勘五郎, 華岡青洲, 高城権八, 勝部本右衛門栄忠, 勝部本右衛門景浜, 江頭杉太郎,
教出	井沢弥惣兵衛, 小笠原東陽, 三背八郎右衛門, 吉田茂, 杉浦健造, 杉浦三郎, 伊波普猷, 中山久蔵, 菅原道真
日文	浜口梧陵, 船田兵吾, 田中正造, 山本有三, 印南文作, 矢板武, 野中兼山, 上杉鷹山, 南方熊楠, 華岡青洲, 川端龍子, 二宮金次郎, 荻野吟子, 玉川庄右衛門, 玉川清右衛門, 伊勢崎淳

b 伝統や文化などの地域資源 (小学校社会 第4学年)

伝統や文化などの地域資源	
東書	瀬戸大橋, 阿波おどり, 東寺, 伊達政宗像, 東京スカイツリー, (各都市) 肘折こけし, 作並こけし, 鳴子こけし, 遠刈田こけし, 弥治郎こけし【宮城県】道後温泉本館, 宇和島のハツ鹿おどり, 新居浜太鼓祭り, 松山城, 西予市明浜町の牛おに, 今治市野間神社のつぎじし, 西予市宇和町の開明学校, 伊予万歳【愛媛県】通潤橋, 布田保之助のどうぞう, 熊本城【熊本県】京都市学校歴史博物館, 天橋立【京都府】春林軒【和歌山県】松江城, 松江歴史館【島根県】雄勝すずり, 松島湾, 五大堂, 瑞巖寺, 塩竈・松島図びょうぶ, 教育資料館 (旧登米高等尋常小学校), 警察資料館, 武家屋敷春蘭亭, 登米懐古館, 水沢県庁記念館, 森舞台, とよま能【宮城県】
教出	唐津くんち【佐賀県】, だんじり祭り【大阪府】, よさこいソーラン祭り【北海道】, ねぶた【青森県】, 仙台七夕【宮城県】, 秩父夜祭【埼玉県】, 姫路城【兵庫県】, 金閣【京都府】, 再建された首里城【沖縄県】, 富士山【静岡県・山梨県】, 白川郷【岐阜県】, 紀伊山地の霊場と参詣道【和歌山県】, 阿波おどり, 祖谷のかずら橋, 大山寺の力餅, 阿波人形浄瑠璃【徳島県】, 見沼代用水【さいたま市】, 小石原焼【福岡県東峰村】, 寄木細工【箱根】, アニメのまち【練馬区】, 太宰府天満宮, 九州国立博物館, 観世音寺の仏像, おにすべの祭り, 大宰府政庁跡【太宰府市】
日文	姫路城, 松原八幡神社, 灘のけんか祭り, いえしま自然体験センター, カブトガニ (笠岡市), カブトガニ博物館, 輪島塗, 仏壇, 加賀友禅, 金箔工芸, 九谷焼, 中山漆器, 兼六園, 金沢城公園, 東茶屋街, 漆芸技術研究所, 漆芸美術館, 黒島天主堂, 眼鏡橋, 旧鍋島家住宅, 旧主藤家住宅, 朝鮮通信使を記念した祭り, 五島神楽, 郷ノ浦祇園山笠, 旧グラバー住たく, めがね橋, 諏訪神社, 軍艦島, 崇福寺, 大浦天主堂, 信者たちが見たマリア像, 日本の聖母, 「信徒発見」のレリーフ, ステンドグラス, 旧羅典神学校, 原爆によってこわされた長崎市内の神社の鳥居, ランタンフェスティバル, ペーロン大会, 寛文長崎図屏風, 諏訪町により蛇踊り, 三体みこし (諏訪社), シャギリ, かさぼこ持ち, 明治時代のかさぼこ, 長崎ししゅう, くんちで使う衣装, 唐人船 (船本町), 宝船 (鍛冶屋町), 本踊 (今籠町), 鯨の潮吹き (万屋町), 川船 (魚の町), 蛇踊 (諏訪町), 南蛮船 (銅座町), 宝船・七福神 (鍛冶屋町), 鯨太鼓 (銀屋町), みこし渡御, だんじり会館, 石づか, 疎水記念碑, 手結の盆おどり, 南方熊楠記念館, 南方熊楠顕彰館, 熊楠が愛用した顕微鏡, 一方杉と継桜王子の鳥居, 山田ぜき, 春林軒, 荻野吟子記念館, 荻野吟子顕彰碑, 玉川上水, 備前焼, 陶夕会陶芸センター, 旧閑谷学校, スイトン, 神庭の滝, 四季草花図屏風, 鏡獅子試作裸形, 鏡獅子, 笠原市立竹喬美術館, 夏の五箇山, 大原美術館, 田中美術館, 西大寺会陽, 清水寺, 京友禅, 京指物, 京扇子

(2) 小学校 社会 第5学年, 第6学年
a 地域・国家社会の発展に尽くした人物 (第6学年)

	古代	中世	近世	近代	現代				
東書	卑弥呼 ワカタケル大王 ヤマトタケルノミ コト	聖徳太子 小野妹子 中大兄皇子 (天智 天皇) 中臣鎌足 (藤原鎌足) 山上憶良 聖武天皇 行基 鑑真	藤原道長 紫式部 清少納言 紀貫之 藤原清衡 藤原基衡 藤原秀衡 菅原道真	源義家 平清盛 足利尊氏 足利義満 足利義政 雪舟 観阿弥 世阿弥	織田信長 豊臣秀吉 徳川家康 武田勝頼 明智光秀 フランシスコ・ザビエ ル 石田三成 徳川秀忠 徳川家光 徳川家綱 天草四郎 (益田時貞)	シャクシャイン 葛飾北斎 杉田玄白 本居宣長 近松門左衛門 歌川広重 ゴッホ 前野良沢 伊能忠敬 大塩平八郎	ベリー 大久保利通 西郷隆盛 木戸孝允 徳川慶喜 坂本竜馬 勝海舟 福沢諭吉 津田梅子 板垣退助 伊藤博文 大隈重信 棚田嘉十郎 陸奥宗光	東郷平八郎 与謝野晶子 小村寿太郎 夏目漱石 樋口一葉 野口英世 新渡戸稲造 北里柴三郎 田中正造 平塚らいてう 石川房枝 高木兼寛 ナイチンゲール ヒトラー	大隈良典
教出	卑弥呼 ワカタケル大王 ヲワケ ヤマトタケル	聖徳太子 蘇我氏 小野妹子 中大兄皇子 (天智 天皇) 中臣鎌足 (藤原鎌 足) 聖武天皇 行基 鑑真 藤原道長 紫式部 清少納言	平清盛 源頼朝 源義経 源義仲 北条政子 北条時宗 竹崎季長 足利義満 足利義政 雪舟 観阿弥 世阿弥	織田信長 徳川家康 武田勝頼 豊臣秀吉 今川義元 ザビエル 明智光秀 徳川秀忠 バリニャーノ 伊東マンショ	徳川家光 天草四郎 (益田時 貞) シャクシャイン 近松門左衛門 歌川広重 葛飾北斎 松尾芭蕉 東洲斎写楽 ゴッホ 竹本義大夫 杉田玄白 前野良沢 本居宣長 伊能忠敬 大塩平八郎 徳川吉宗 大岡忠相 青木昆陽	ベリー 木戸孝允 (桂小五 郎) 西郷隆盛 大久保利通 徳川慶喜 坂本龍馬 勝海舟 岩倉具視 明治天皇 津田梅子 渋沢栄一 福沢諭吉 陸奥宗光 板垣退助 大隈重信 楠瀬喜多 伊藤博文 東郷平八郎 乃木希典	小村寿太郎 田中正造 北里柴三郎 志賀潔 野口英世 新渡戸稲造 平塚らいてう 山田孝野次郎 後藤新平 石川倉次 南方熊楠 嘉納治五郎 クーベルタン	昭和天皇 杉原千畝 湯川秀樹 山中伸弥 中村哲 マララ=ユスフザ イ	

日 文	卑弥呼 ワカタケル大王	聖徳太子 小野妹子 中大兄皇子（天智 天皇） 中臣鎌足（藤原鎌 足） 聖武天皇 行基 鑑真 阿倍仲麻呂 藤原道長 菅原道真 紫式部 清少納言	平清盛 源頼朝 源義経 北条政子 北条時宗 竹崎季長 足利尊氏 足利義満 足利義政 雪舟 観阿弥 世阿弥	織田信長 豊臣秀吉 徳川家康 明智光秀 フランシスコ＝ザ ビエル	徳川家光 益田時貞（天草四 郎） 雨森芳洲 近松門左衛門 歌川広重 本居宣長 杉田玄白 前野良沢 伊能忠敬 ペリー 大塩平八郎 西郷隆盛 大久保利通 木戸孝允 徳川慶喜 勝海舟 坂本龍馬 西郷隆盛	福沢諭吉 板垣退助 大隈重信 伊藤博文 陸奥宗光 小村寿太郎 東郷平八郎 与謝野晶子 北里柴三郎 野口英世 津田梅子 田中正造 平塚らいてう 山田孝野次郎 斎藤隆夫	マッカーサー 山中伸弥

b 伝統や文化などの地域資源（小学校社会 第5学年）

伝統や文化などの地域資源	
東 書	千セ、棚田、白神山地、小笠原諸島
教 出	p165 南部鉄器【岩手県】 p240, 241 日本にある世界遺産 石見銀山遺跡とその文化的景観、姫路城、古都京都の文化財、古都奈良の文化財、原爆ドーム、厳島神社、宗像・沖ノ島と関連する遺産群、端島炭鉱、琉球王国のグスクと関連する遺産群、屋久島、法隆寺地域の仏教建造物、紀伊山地の霊場と参詣道、白川郷・五箇山の合掌造り集落、白神山地、知床、平泉の建築・庭園と考古学的遺跡群、日光の社寺、富岡製糸場と絹産業遺産群、ル・コルビュジエの建築作品/国立西洋美術館、富士山とその周辺地域の自然や文化財、小笠原諸島、明治日本の産業革命遺産（岩手県・静岡県・山口県・福岡県・熊本県・佐賀県・長崎県・鹿児島県）
日 文	釧路湿原、小笠原諸島

b 我が国の代表的な文化遺産 (第6学年)

	古代	中世	近世	近代	現代				
東書	加曾利貝塚 三内丸山遺跡 蛸塚貝塚 板付遺跡 吉野ヶ里遺跡 仁徳天皇陵古墳 江田船山古墳 稲荷山古墳	法隆寺 飛鳥宮跡 藤原京 平城京 陸奥国分寺 正倉院 唐招提寺 平城宮跡 平城京天平祭跡鞠 束帯 十二単	小倉百人一首 かな文字 大和絵 加茂祭(葵祭) 年中行事絵巻 曲水の宴 中尊寺金色堂 中尊寺金色堂内陣 毛越寺の庭園 柳之御所遺跡 厳島神社	金閣 銀閣 書院造 すみ絵(水墨画) 竜安寺の石庭 月次風俗図屏風 能 狂言 茶の湯 生け花 御伽草子 足利学校	首里城 長篠合戦図屏風 火縄銃 安土城 大阪城 石見銀山 名護屋城 有田焼 関ヶ原合戦屏風	日光東照宮の陽明門 江戸図屏風 加賀藩の参勤交代図 蝦夷錦 き代照覧 歌舞伎 古事記伝 人形浄瑠璃 東海道五十三次 解体新書	葛飾北斎の浮世絵 日新館 什の掟 やぶさめ 建長寺 鶴岡八幡宮 ぼんぼり祭り	高麗家住宅 旧開智学校 学問のすすめ 官営富岡製糸場 官営八幡製鉄所 足尾銅山 原爆ドーム 平和記念資料館	東京タワー 東京スカイツリー
教出	三内丸山遺跡 縄文土器 土偶 唐古・鍵遺跡 登呂遺跡 板付遺跡 青銅器 弥生土器 吉野ヶ里遺跡 銅たく 大仙(仁徳陵)古墳 前方後円墳 はにわ 稲荷山古墳 江田船山古墳 金印 古事記 日本書紀	法隆寺 東大寺の大仏 万葉集 唐招提寺 正倉院 寝殿造 囲碁 蹴鞠 和歌 七草がゆ 古今和歌集 大和絵 源氏物語絵巻 源氏物語 枕草子 かな文字 十二単	大塚古墳 鞠智城 平治物語絵巻 厳島神社 朝比奈の切通し 鎌倉街道 蒙古襲来絵詞博多 湾の防塁 中尊寺金色堂	金閣 銀閣 東求堂 書院造 水墨画(天橋立図) 茶の湯 生け花 枯山水 龍安寺 月次風俗図屏風 壬生の花田植え 祇園祭 洛中洛外図屏風 田楽 猿楽 能 狂言	長篠合戦図屏風 安土城 本能寺 南蛮屏風 大阪城 有田焼 石見銀山 関ヶ原合戦図屏風 江戸城	日光東照宮 長崎の出島 日本橋 五街道 人形浄瑠璃 歌舞伎 浮世絵 東海道五十三次 富嶽三十六景 俳句 相撲 花火 旧金毘羅大芝居 「金丸座」 伊勢参り 北前船 箱根の関所 解体新書 蘭学 古事記伝	国学 伊能忠敬の地図 寺子屋 藩校 儒学	富岡製糸場 五稜郭 学問のすすめ トルコ軍艦遭難慰霊碑 八幡製鉄所 足尾銅山 日本式点字 石川式点字タイプライター	ひめゆり平和祈念資料館 平和の礎 広島平和記念公園 東京タワー

日 文	三内丸山遺跡	法隆寺	大和絵	巖島神社	生け花	長篠合戦図屏風江	日光東照宮	古事記伝	旧開智学校	すみぬり教科書
	堅穴住居	万葉集	けまり	鶴岡八幡宮	茶の湯	戸城	朱印状	寺子屋	富岡製糸工場	日本国憲法の現本
	縄文土器	藤原京	七夕	名越の切通	能	鉄砲	踏み絵	清学院	学問のすゝめ	平和祈念公園
	加曾利貝塚	東大寺の大仏殿	かな文字	蒙古襲来絵詞	狂言	鉄砲鍛冶屋敷	首里城	源氏物語	鹿鳴館	シャクシャインの像
	登呂遺跡	東大寺の大仏	端午の節句	てつはう	水墨画(天の橋立)	天下布武(印)	シャクシャイン像	足利学校	五日市憲法草案の記念碑	平和の礎
	吉野ヶ里遺跡	周防国分寺	囲碁	博多湾沿岸の石るい	秋冬山水図	伊万里焼	江戸図屏風	清学院	八幡製作所	平和の塔
	人骨に刺さった矢じり	武蔵国分寺跡	すごろく	い	常栄寺の庭	有田焼	備中ぐわ	蘭学	エルトゥールル号	屋久島の縄文杉
	遺跡から出土した剣	長登銅山跡	源氏物語	祇園祭		薩摩焼	歌舞伎	解体新書	遭難事件の慰霊碑	
	銅鐸	平城宮跡	枕草子	洛中洛画図屏風		住吉祭祀図屏風	人形浄瑠璃	伊能忠敬がつくった地図	ひめゆりの塔	
	大仙(仁徳陵)古墳	木簡		龍安寺の石庭			東海道五十三次	千利休屋敷跡	旧日立航空機株式会社変電所	
	はにわ	正倉院		金閣			浮世絵		原爆ドーム	
	円墳	ガラスのおわん		銀閣			歌川広重の絵		長崎浦上天主堂	
	方墳	紺瑠璃の月		芬陀院			ゴッホの絵			
	前方後円墳	琵琶		書院造						
	江田船山古墳から出土した鉄刀	鏡								
	高松塚古墳	遣唐使船								
	藤ノ木古墳	鑑真和上東征絵伝								
	稻荷山古墳から出土した鉄剣	神殿造								
	出雲国風土記	束帯, 十二単								
	古事記	下鴨神社								
日本書紀	平等院鳳凰堂									
	熊野本宮大社									
	王塚古墳									

小学校社会科

別紙1【(1)調査研究の総括表】

研究事項	a 地域・国家の発展に尽くした先人		b 伝統や文化などの地域資源, 我が国の文化遺産		
	第4学年	第6学年	第4学年	第5学年	第6学年
東京書籍	8	84	38	4	78
教育出版	9	93	25	24	107
日本文教出版	16	66	86	2	123

c 我が国の領土をめぐる問題に関する内容「北方領土」 (小学校 社会 第5学年)

	扱い(本文・コラム・写真等)	取り上げている項目	記述の抜粋
東書	5年上p12, 13 本文, ふきだし, 写真	・日本の国土	<ul style="list-style-type: none"> ・日本は、北半球に位置し、まわりを太平洋や日本海などの海に囲まれている島国です。北海道、本州、四国、九州の四つの大きな島と、沖縄島や択捉島をはじめとする多くの島々が南北に弓のように連なっています。 ・日本の東西南北のはしは、南鳥島、与那国島、沖ノ鳥島、択捉島です。 ・択捉島(北海道)：北海道、本州、四国、九州に次ぐ大きさの島です。
	5年上p14, 15 本文, コラム, 写真	・領土をめぐる問題	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道の北東に続く歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は、日本固有の領土です。ところが、80年ほど前におきた太平洋戦争が終わったあとのソビエト連邦が占領し、その後もソビエト連邦をひきついだロシア連邦が不法に占領しています。日本政府は、これらの島を返すように求めて、交渉を続けています。 ・北方領土の位置：北方領土が1日も早く日本にもどることが、わたしたち日本人の願いです。
教出	p13 写真, 地図 p15 本文	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の北のはし ・日本の国土はどこまで? 	<ul style="list-style-type: none"> ・択捉島 ・択捉島もふくめ、国後島・色丹島・歯舞群島の、北海道の北東に連なる島々は、北方領土とよばれる日本の領土です。しかし、1945(昭和20)年、太平洋戦争が終わったあとソビエト連邦(今のロシア連邦)が不法に占拠し、そこに住んでいた日本人は強制的に退去させられ、今にいたっています。日本は、北方領土の一日も早い返還をロシア連邦に求め続けています。
	p15 写真	・外国との国境に近い島々(北方領土・竹島・尖閣諸島)	<ul style="list-style-type: none"> ・これらの島々は、一度も他の国の領土になったことがない、日本固有の領土です。
	p49 コラム	・北海道とロシア連邦の関係	<ul style="list-style-type: none"> ・日本とロシアとの住民どうしの交流が毎年続けられている一方で、ロシアとの間には、北方領土をめぐる問題が解決されずに残っています。北海道でくらす人々は、となり合うロシアの人たちとよい関係を築いていきたいと願っています。
	p93 本文, 写真, 地図 p93 コラム	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業の変化と課題 ・加工工場の高岡さんの話 	<ul style="list-style-type: none"> ・根室半島のすぐ近くには、ロシアが不法に占領している北方領土の島々があり、根室の水産業に大きなえいきょうをあたえています。 ・北方領土の周りの海は、たら、さけ、ますなどの水産物が豊富です。わたしのおじいさんとおばあさんも、歯舞群島で漁を営んできました。ですが、今は自由に漁ができません。ロシアと話し合い、定められた期間に協力金をはらって漁をしているのです。とることができる水産物の種類や量は大きく制限されています。祖先の土地や漁場が早く返されることを願っています。

日 文	p14, 15 本文, 地図, 写真, キー ワード p16, 17 本文, 地図, 写真, コラ ム	<ul style="list-style-type: none"> 日本の国土のはんい 領土をめぐる問題 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の北のはし, 択捉島 「領土」とは, 国のはんいのうち陸地のこと。また, 領土の海岸線から12海里(約22km)までの海のことを領海といい, 領土・領海の上空を領空といいます。 75年ほど前, 第2次世界大戦ののち, ソビエト連邦は, 択捉島やその近くにある国後島, 色丹島, 歯舞群島を占領しました。これらの島々は, 北方領土とよばれ, 現在, ソビエト連邦を引き継いだロシアが不法に占拠しています。北方領土は日本固有の領土であるため, 日本政府はこれらの島々を返すように, ロシアにはたらきかけ, 話し合いを続けています。日本の人々は, これらの島々が1日も早く帰ってくることを願っています。
--------	--	---	--

c 我が国の領土をめぐる問題に関する内容「北方領土」 (小学校 社会 第6学年)

	扱い(本文・コラム・写真等)	取り上げている項目	記述の抜粋
東 書	6年歴史編 p153 コラム, 写真	<ul style="list-style-type: none"> まわりの国と日本 	<ul style="list-style-type: none"> ロシア連邦とは, 1956年に国交を回復(当時はソビエト連邦)しました。しかし, 日本固有の領土である北方領土の返還問題が残されています。
教 出	p227 コラム, 地図	<ul style="list-style-type: none"> 未解決の北方領土 	<ul style="list-style-type: none"> 戦後, ソビエト連邦(ソ連)との国交は回復しましたが, 北方領土の問題は解決されませんでした。日本固有の領土である歯舞群島, 色丹島, 国後島, 択捉島は, ソ連の時代から占領されたままです。1991年にソ連が解体してからは, ロシア連邦との間で返還を求める交渉を続けています。
日 文	p224, 225 本文, 地図, 写真, コラ ム	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の中の日本 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の領土・領海・領空と排他的経済水域 国の領土・領海・領空を定めるということは, 国民の生活にもえいきょうするたいせつなことです。日本の領土である北方領土や竹島の問題の解決に向け, 日本政府は慎重に対応しています。 沖縄は, 1972(昭和47)年5月15日にアメリカから日本へ復帰しました。戦争が終わってから27年後のことでした。しかし, アメリカ軍基地は残されたまま, 安全性や騒音などの問題は大きな課題として残されています。 北海道の根室沖にある, 歯舞群島, 色丹島, 国後島, 択捉島は, 歴史的にも日本固有の領土で, 北方領土と呼ばれます。第二次大戦後, ソ連はこれらの島々を占領し, 現在, ソビエト連邦を引き継いだロシアが不法に占拠しています。日本政府は, 北方領を返すよう, ロシアに求め続けています。

c 我が国の領土をめぐる問題に関する内容「竹島」 (小学校 社会 第5学年)

	扱い(本文・コラム・写真等)	取り上げている項目	記述の抜粋
東書	5年上p14 本文, 写真, 地図	・領土をめぐる問題	・日本海上にある竹島は, 日本固有の領土ですが, 韓国が不法に占領しているため, 日本は抗議を続けています。 ・竹島(島根県)の位置
教出	p15 本文 p15 写真 p16 コラム, 地図, 写真	・日本の国土はどこまで? ・外国との国境に近い島々(北方領土・竹島・尖閣諸島) ・日本固有の領土, 竹島と尖閣諸島	・島根県の竹島では, 韓国が自国の領土であると主張し, 不法な占拠を続けています。 ・これらの島々は, 一度も他の国の領土になったことがない, 日本固有の領土です。 ・島根県の竹島は, 日本の領土でありながら, 1954(昭和29)年から韓国が不法に占拠する状態が続いています。日本はこのことにくり返し抗議するとともに, 国際的な場で話し合いによって平和的に解決しようと, 韓国に対するはたらきかけを重ねてきています。
日文	p14, 15 本文, 地図, 写真等 p16, 17 本文, 地図, 写真, コラム	・日本の国土のはんい ・領土をめぐる問題	・「領土」とは, 国のはんいのうち陸地のこと。また, 領土の海岸線から12海里(約22km)までの海のことを領海といい, 領土・領海の上空を領空といいます。 ・日本海にある竹島は, 日本固有の領土ですが, 現在, 韓国が不法に占拠しているため, 韓国に繰り返し抗議しています。

c 我が国の領土をめぐる問題に関する内容「竹島」 (小学校 社会 第6学年)

	扱い(本文・コラム・写真等)	取り上げている項目	記述の抜粋
東書	6年歴史編p153 コラム	・まわりの国と日本	・大韓民国(韓国)とは, 1965年に朝鮮半島を代表する政府として条約を結び, 国交を正常化して友好関係を深めています。貿易だけでなく, 人や文化の交流もさかんになっています。一方で日本固有の領土である竹島を, 韓国は1954年から不法に占領しており, 日本は抗議を続けています。
教出	p226 写真	・竹島	・竹島は日本固有の領土でありながら, 1954年から韓国が不法な占拠を続けています。日本はこれに抗議するとともに, 国際的な場で話し合いによって平和的に解決しようと, 韓国に対するはたらきかけを続けてきています。

日 文	p 224, 225 本文, 地図, 写真, コラ ム	・国際社会の中の日本	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土・領海・領空と排他的経済水域 ・国の領土・領海・領空を定めるということは、国民の生活にもえいきょうするたいせつなことです。日本の領土である北方領土や竹島の問題の解決に向け、日本政府は慎重に対応しています。 ・沖縄は、1972（昭和47）年5月15日にアメリカから日本へ復帰しました。戦争が終わってから27年後のことでした。しかし、アメリカ軍基地は残されたままで、安全性や騒音などの問題は大きな課題として残されています。 ・島根県沖にある竹島は、1905（明治38）年に島根県に編入された日本の固有の領土です。しかし、韓国もその領土を主張しており、現在、韓国は、不法に占拠しています。日本政府は、韓国に抗議をし続けています。
--------	-----------------------------------	------------	--

c 我が国の領土をめぐる問題に関する内容「尖閣諸島」（小学校 社会 第5学年）

	扱い（本文・コラム・写真等）	取り上げている項目	記述の抜粋
東 書	5年上p14 本文, 写真, 地図	・領土をめぐる問題	<ul style="list-style-type: none"> ・また、東シナ海にある尖閣諸島は、日本が有効に支配する固有の領土です。中国がその領有を主張していますが、領土問題は存在しません。 ・尖閣諸島（沖縄県）の位置
教 出	p15 本文 p15 写真 p16 コラム, 地図, 写真	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の国土はどこまで？ ・外国との国境に近い島々（北方領土・竹島・尖閣諸島） ・日本固有の領土、竹島と尖閣諸島 	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県の尖閣諸島については、領土問題はないというのが日本の立場ですが、中国も自国の領土であると主張しています。 ・これらの島々は、一度も他の国の領土になったことがない、日本固有の領土です。 ・沖縄県の尖閣諸島も日本の領土であり、国としての適切な管理をこれまで続けているにもかかわらず、中国が自国の領土であると主張しています。その周りの日本の海では、中国の船が侵入し、日本の同意を得ることなく海洋調査を行ったり、違法に漁業を行ったりするなどの行為をくり返しています。日本は、海上保安庁などによる警戒や取りしめりを強め、そうした行為をしないよう中国に求め続けています。
日 文	p14, 15 本文, 地図, 写真, キー ワード p16, 17 本文, 地図, 写真, コラ ム	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の国土のはんい ・領土をめぐる問題 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の南のはし、沖ノ鳥島 ・「領土」とは、国のはんいのうち陸地のこと。また、領土の海岸線から12海里（約22km）までの海のことを領海といい、領土・領海の上空を領空といいます。 ・東シナ海にある尖閣諸島は、日本固有の領土で、その領有については、問題がないにも関わらず、中国が自国の領土であると主張しています。

c 我が国の領土をめぐる問題に関する内容「尖閣諸島」 (小学校 社会 第6学年)

	扱い(本文・コラム・写真等)	取り上げている項目	記述の抜粋
東書	6年歴史編p153 コラム	・まわりの国と日本	・中華人民共和国(中国)とは、1972年に国交が正常化され、1978年には日中平和友好条約を結びました。貿易や産業技術の提携などを通して、関係が深まっています。一方、中国は日本固有の領土である尖閣諸島の領有を主張していますが、尖閣諸島は日本が有効に支配しており、領土問題は存在しません。
教出	p227 コラム p242 コラム	・中国と日本 ・尖閣諸島をめぐる課題	・日本と中国の間には、領土をめぐる問題があります。沖縄県の尖閣諸島は日本固有の領土であり、領土問題はないというのが日本の立場ですが、中国も自国の領土であると主張しています。尖閣諸島の周りの海では、中国の船が侵入し、日本の同意を得ることなく海洋調査を行うなどの行為をくり返しています。日本は、そうした行為をしないように中国に求めています。 ・沖縄県の尖閣諸島は、日本の領土でありながら、中国が自国の領土であると主張しています。その周りの海では、中国の船が侵入し、日本の同意を得ることなく海洋調査を行ったり、違法に漁業を行ったりするなどの行為をくり返しています。日本は、警戒や取りしまりを強め、そうした行為をしないよう中国に求めています。
日文	p224, 225 本文, 地図, 写真, コラム	・国際社会の中の日本	・日本の領土・領海・領空と排他的経済水域 ・国の領土・領海・領空を定めるということは、国民の生活にもいきょうするたいせつなことです。日本の領土である北方領土や竹島の問題の解決に向け、日本政府は慎重に対応しています。 沖縄は、1972(昭和47)年5月15日にアメリカから日本へ復帰しました。戦争が終わってから27年後のことでした。しかし、アメリカ軍基地は残されたままで、安全性や騒音などの問題は大きな課題として残されています。 ・沖縄県の西方にある尖閣諸島は、1895(明治28)年に沖縄県に編入された日本の固有の領土です。大二次世界大戦後、アメリカの領地下におかれましたが、沖縄県が日本に返還されるとともに、日本の領土にもどりました。日本固有の領土で、その領土をめぐる問題がないにも関わらず、中国も自国の領土であると主張しています。

d 自然災害における関係機関（自衛隊）の役割に関する内容（小学校 社会 第4学年）

	扱い（本文・コラム・写真等）	取り上げている項目	記述の抜粋
東書	4年上 p. 79, 87 本文, 写真 4年上 p. 96 写真 4年上 p. 98 本文, 写真	<ul style="list-style-type: none"> ・地震への対応 ・水害への対応 ・災害への対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・「だから、県や国からもけいさつや消防、自衛隊が出動するのですね。」 ・「大きな地震の場合は、国や自衛隊県とも連携いして対応します。」 ・自衛隊による救助の様子 ・「消防やけいさつ、自衛隊が出動し、協力して救助活動をしたと聞きました。」
教出	<p>p 86 コラム</p> <p>p 87 図</p> <p>p 87 コラム</p> <p>p 105 図</p> <p>p 113 図</p> <p>p 113 コラム</p> <p>p 115 図</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所へ行って調べよう ・地震や津波から住民を守るしくみ ・関係機関の役割 ・水害から住民を守るしくみ ・有珠山火山防災協議会と、関係機関の役割 ・市役所の人のお話 ・雪の災害が発生した場合に協力するしくみ 	<ul style="list-style-type: none"> ・市は、防災会議を開いて地域防災計画を毎年見直します。会議には、市長、消防の人、警察の人、県の係の人、国土交通省など国の担当者、自衛隊の人など、40人以上の関係者が集まります。 ・自衛隊：ひがいが大きいとき、県の求めにより出動する。けが人や病人を病院へ運ぶ。食料や水をひさい地へ運ぶ。 ・自衛隊：ひなん者の輸送やたき出し、給水など ・2017年には、市とまわりの3町の住民は、国土交通省、警察署、気象台、自衛隊など10をこえる関係機関とともに、合同で避難訓練を行いました。 ・自衛隊：雪のひがいにあった住民の救助、食料や水の輸送など
日文	P 72, P 73 本文, 写真, コラム, キーワード, 災害年表	<ul style="list-style-type: none"> ・水害のことを知る 	<ul style="list-style-type: none"> ・自衛隊とは、国の役所の一つである防衛省に所属している。日本の国や国民を守る組織。陸・海・空の三つからなり、全国におよそ23万人の隊員がいます。 ・多摩川の水害を伝える碑の写真は、1974（昭和49）年9月2日のものです。8月31日に東京都をおそった台風のえいきょうで、多摩川の水位が急激に上がりました。 すると、一部の岸がこわされてはげしい回流ができ、てい防がくずれました。狛江市では、19戸の家が流されました建設省（当時）や自衛隊などの取り組みで、6日になって住宅地への水の流入が止まりました。

d 自然災害における関係機関（自衛隊）の役割に関する内容（小学校 社会 第6学年）

	扱い（本文・コラム・写真等）	取り上げている項目	記述の抜粋
東書	6年政治・国際編 p.48, 49 本文, 写真 6年政治・国際編 p.103 写真	・救命・救出活動 ・平和維持活動	・宮城県でも、被害状況をつかむための情報収集を行うとともに、自衛隊に災害時の派遣要請を行いました。また、災害救助法を適用して、必要な物資を被災地に送る準備を始めました。 ・自衛隊による救命・救出活動：東日本大震災では、自衛隊による救命・救出などの活動が、いち早く行われ、被災者の大きな支えになりました。 ・国連の平和維持活動に参加する自衛隊（2012年）：20年余りの内戦を経て独立した南スーダンでは、幹線道路の整備が大きな課題の一つになっていました。
教出	p.21 写真 p.21 コラム p.49 写真 p.50 写真 p.51 本文 p.263 写真	・災害派遣で出動した自衛隊 ・自衛隊の主な役割 ・避難する人々を救助する自衛隊員 ・支援物資を運ぶ自衛隊員 ・国連の平和維持活動（PKO）に参加した日本の自衛隊（2016年 南スーダン）	○国の防衛 ○災害派遣など ○国際協力 ・自衛隊は国の平和と独立を守ることを主な目的として1954年につくられました。日本が自衛隊をもつことについては、憲法第9条で禁じている戦力には当たらないので問題はないとする見方がある一方で、憲法に違反していると考える人もいます。 ・東日本大震災では、最も多い時で1日に10万人をこえる自衛隊員が被災地で活躍しました。 ・市や県の取り組みだけでなく、全国から派遣された警察や消防、自衛隊など大勢の人々が、被災した人々の捜査や救護にあたりました。 ・現地の人々と協力して、道路の補修などの土木工事を行いました。
日文	P.264 写真 P.276 写真, コメント	・様々な自然災害 ・自分たちの命と地域は自分たちで守る	・鬼怒川の洪水を救助活動の様子（2015年、茨城県常総市） ・建物から救いだされた人（2015年、茨城県常総市） ・自衛隊の人が、お年寄りをボートで救助しているね。ひなんできずに、建物に取り残されたのかな。